

県政さわやかタウンミーティング

開催結果の施策への反映事例

○令和5年度反映事例

	テーマ	部局名	所属名	開催日	頁
①	県と静岡県老人クラブ連合会との意見交換会	健康福祉部	福祉長寿政策課	R5.8.22	2
②	静岡県医学修学研修資金について	健康福祉部	地域医療課	R5.12.19 R6.1.9	2
③	県経済産業部と農業経営士協会との意見交換会	経済産業部	農業戦略課	R5.8.9	3
④	海岸環境の保全について	交通基盤部	静岡土木事務所	R5.6.22	3
⑤	森と水辺の環境保全について	交通基盤部	静岡土木事務所	R6.3.19	4

① 県と静岡県老人クラブ連合会との意見交換会(令和5年8月 22 日)

担当所属	健康福祉部福祉長寿局福祉長寿政策課
開催目的	高齢者福祉施策の参考とするため
意見概要	<p>各シニアクラブが抱える課題等について、県を交えて共有した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・60～70代は就労などで入会はほぼない。 ・役員になりたくない、平日は参加できないという人が多い。 ・会員は2030年にはみな米寿を超える。運営が心配。 ・見守りするなど、ボランティアに参加したい人はいる。 ・市、市社協がなかなか連携していない。
施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度より「通いの場活性化支援事業」を実施する。 <p>同事業では、活動のマンネリ化などの課題を持つ通いの場に対して、意欲あるシニア層のボランティア活動(シニアプロボノ)をマッチングすることにより、「通いの場の活性化」と「意欲あるシニア層の生きがいづくり」の好循環を目指すこととしている。</p> <p>また、県下2箇所で開催者養成の連続講座も行うこととしている。</p>

② 静岡県医学修学研修資金について(令和5年12月19日、令和6年1月9日)

担当所属	健康福祉部医療局地域医療課
開催目的	静岡県医学修学研修資金の説明・意見交換
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成プログラムについて、「診療科によっては取得できない専門医資格があるのでは」と質問いただいた。
施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県専門医研修プログラムは全診療科に対応している。 ・なお、専門医資格取得まではキャリア形成の支援を優先することを伝えた上で、医師少数区域等における勤務を経た上で専門医の取得・維持ができるよう整備を進めていく。

③県経済産業部と農業経営士協会との意見交換会(令和5年8月9日)

担当所属	経済産業部農業局農業戦略課
開催目的	地域における指導的な役割を果たすとして知事が認定した農業経営士と県幹部職員との意見交換会を行う
意見概要	現在、農業経営士が抱えている課題や県政への要望について、3つのテーマにしばり意見交換が行われた。 1 燃油、飼料、肥料、資材費の高騰について 2 中山間地における設備支援 3 県産農産物の消費拡大
施策への反映	1 農業用施設・設備の整備に対する事業費助成や燃油価格高騰分の一部支援に向けた施設園芸セーフティーネットを構築しており、加入を推進した。また、県産飼料の自給率を高めるためモデル実証の取組みを開始することとした。 2 中山間地域農業振興整備事業の補助を通じ、モノレール施設整備等を支援している。わさび生産の後継者確保と新規就農希望者のマッチングについて、農林事務所や農協が窓口となって支援を開始した。 3 畜産フェアや浜名湖花博 2024 の開催により、県産畜産物や県産花き等の魅力を発信しながら、消費拡大に努めていく。また、静岡第一テレビ、JA、県の3社と連携協定を結び、若年層を中心に県産茶の消費拡大への取組みを進めていく。

④ 海岸環境の保全について(令和5年6月 22日)

担当所属	交通基盤部静岡土木事務所企画検査課
開催目的	静岡海岸において環境保全活動に取り組んでいる団体との意見交換を実施することで、現状把握に努めるとともに、今後の施策に活かしていくため。
意見概要	1 堤防の嵩上げが進んできて防災上の観点等からも海岸箇所にも名前をつけて欲しい。 2 海岸のテトラポット(堤防近くにあったもの)を撤去して欲しい。 3 案内看板が劣化してきているものがある。また再設置してもらえるのか。 4 高齢化により手入れが難しくなっている。 5 管理区域(堤防部の草刈り等。県、市、民地との区域)の明確化をして欲しい。
施策への反映	1 過年度に整備した防潮堤の嵩上げ区間は周辺の景観が単調であり、来訪者が現在地の把握に苦慮するケースも想定されることから、団体との調整の結果、緊急時の避難行動にも活用できるよう海岸への坂路設置箇所に番号を付けることとした。 2 令和5年度は大浜公園周辺のエリアを対象に工事発注し、対応する。 3 令和5年度に工事発注し、対応する。 4 静岡・海辺づくりの会の活動支援を継続し、意思疎通・情報共有を図っていく。 5 海岸の管理区分明確化に向け、静岡市と連絡・調整を図る。

⑤ 森と水辺の環境保全について(令和6年3月19日)

担当所属	交通基盤部静岡土木事務所企画検査課
開催目的	静岡市都市山麓グリーンベルト砂防指定地内において里山の保全活動に取り組んでいる団体との意見交換を実施することで、現状における課題の把握に努めるとともに、今後の施策に活かしていくため。
意見概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 県工事の施工にあたっては、予め、情報共有を密にお願いしたい 2 工事用通路など破損した施設の早期復旧をお願いしたい 3 会員の高齢化、活動資金の不足などの課題を抱えており、今後の活動に不安がある
施策への反映	<ol style="list-style-type: none"> 1 県工事の計画・施工にあたっては、定期的に「森と水辺を育てる会」との打合せを実施するなどして、意思疎通・情報共有を図ることとした。 2 令和6年度の整備・補修箇所は、「森と水辺を育てる会」と相談の上、会の求める優先順位も踏まえて決定していくこととした。 3 大内グリーンベルトの維持管理のため、今後も「森と水辺を育てる会」との意思疎通を図りながら、支援に関する有用な情報があれば随時情報提供するとともに、県として可能な範囲で支援を継続していく。